

本資料の数値等は速報値であるため、
今後の調査で変わる可能性があります。

令和元年10月台風第19号による 荒川下流管内の出水状況等について

令和元年10月21日 18:00 現在

【第3報】



東京都北区 岩淵水門付近 令和元年10月13日 13時頃撮影

国土交通省 関東地方整備局
荒川下流河川事務所

目次

1. 気象・降雨状況[更新]
2. 出水状況[更新]
3. 洪水の状況[追加]
4. 洪水予報発表状況[更新]
5. 水防警報発令状況[更新]
6. 排水機場稼働状況[更新]
7. 水門操作状況
8. 岩淵水門操作[更新]
- 【参考】 荒川放水路の建設と岩淵水門[更新]
9. 情報発信状況

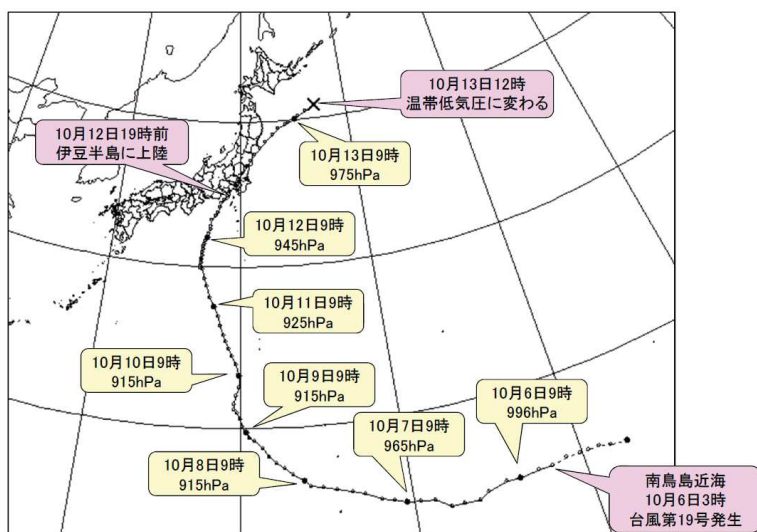
1. 気象・降雨状況

[更新]

(1) 気象概況

10月6日に南鳥島近海で発生した台風第19号は、マリアナ諸島を西に進みながら、7日には大型で猛烈な台風となり、12日19時前に大型で強い勢力で伊豆半島に上陸した後、関東地方を通過しました。

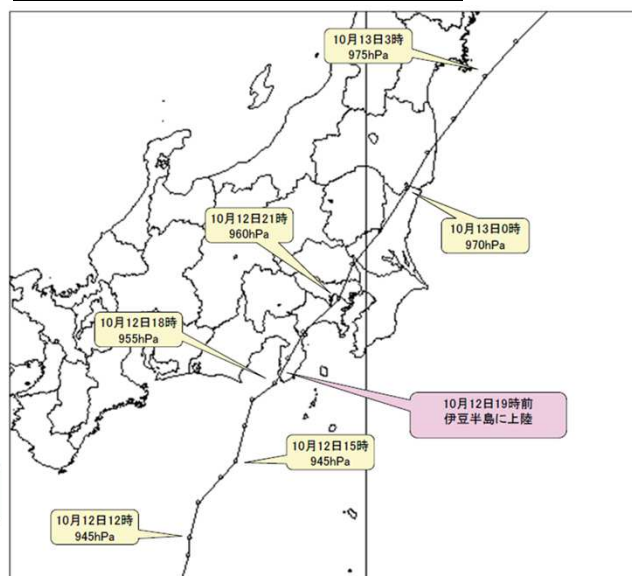
台風第19号経路図 速報解析



台風第19号 経路図 (日時、中心気圧 (hPa)) 速報解析※

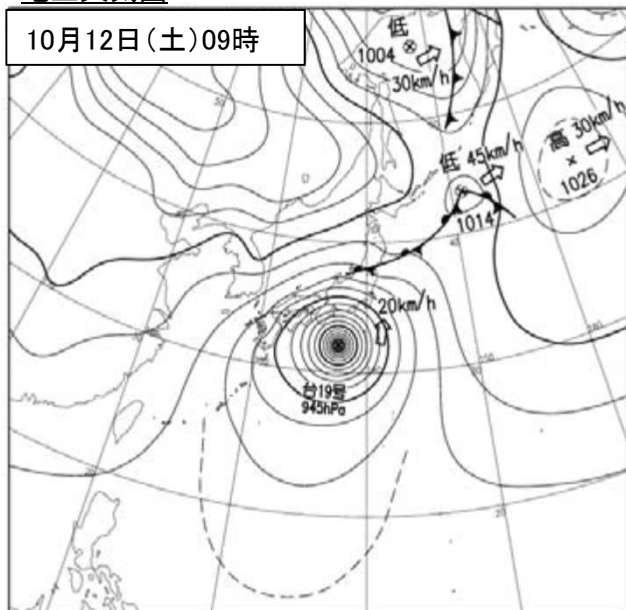
※点線の経路は熱帯低気圧時の経路を示しています。

台風第19号経路図 速報解析 拡大

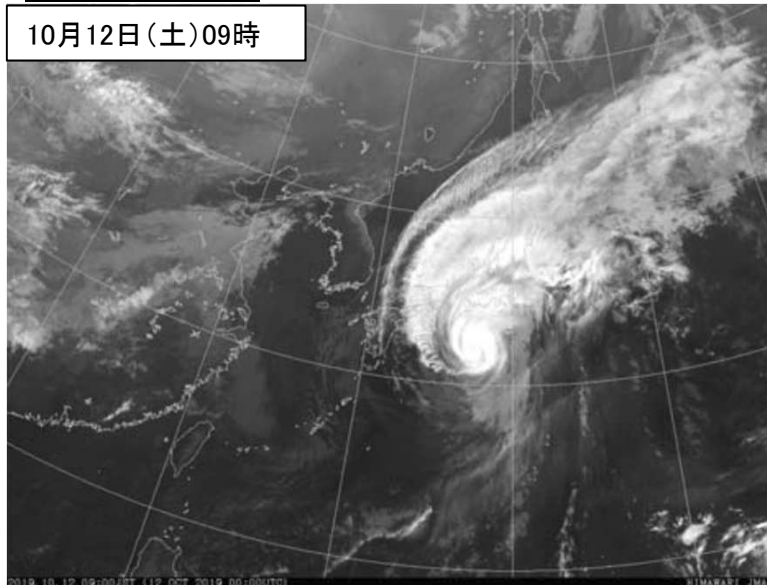


台風第19号 経路図 (日時、中心気圧 (hPa)) 速報解析 拡大

地上天気図



気象衛星赤外画像



※「令和元年 台風第19号に関する気象速報」(令和元年10月14日 東京管区气象台)等を基に作成

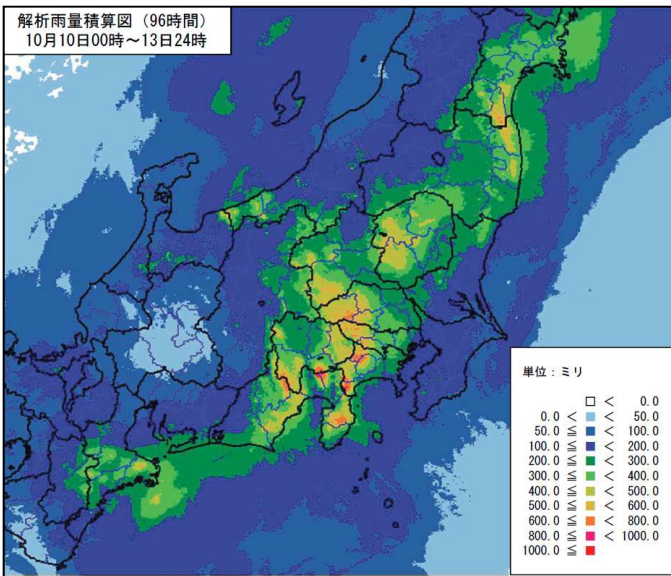
1. 気象・降雨状況

[更新]

(2)降雨概況

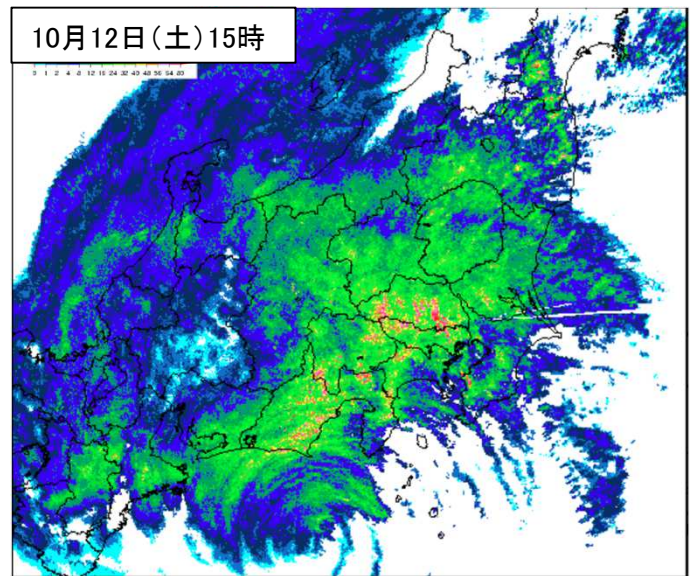
24時間降水量は、荒川上流域である埼玉県三峰(今回:561.5ミリ、1976年:458ミリ)、秩父(今回:519.0ミリ、1976年427ミリ)、浦山(今回:647.5ミリ、1977年:475ミリ)及びときがわ(587.0ミリ、2000年:326ミリ)等で統計開始以来の極値更新しました。

解析雨量積算図



※解析雨量とは、気象レーダーとアメダス等の地上の雨量計により観測されたデータを組み合わせ、1km四方ごとに過去1時間雨量を解析したものです。

レーダー画像



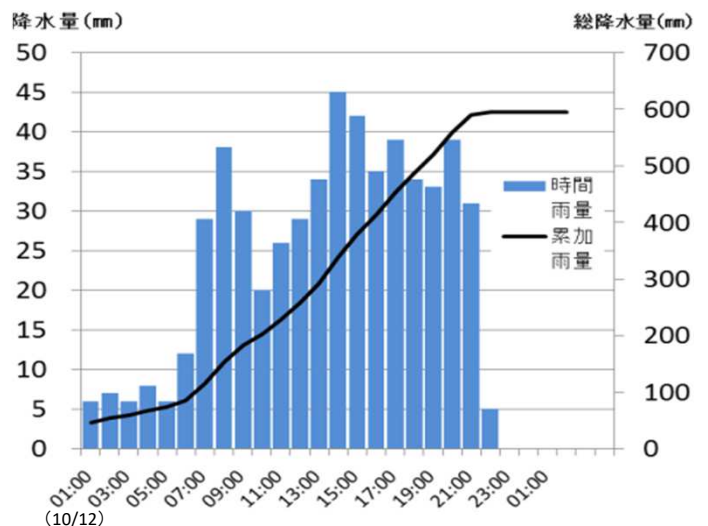
降水量の期間合計値

(令和元年10月10日~13日)

	都道府県	市町村	地点	期間合計値 mm
1位	神奈川県	足柄下郡箱根町	箱根	1001.5
2位	静岡県	伊豆市	湯ヶ島	760.0
3位	埼玉県	秩父市	浦山	687.0
4位	東京都	西多摩郡檜原村	小沢	649.0
8位	埼玉	比企郡ときがわ町	ときがわ	604.5
9位	埼玉県	秩父市	三峰	593.5



三峰山頂雨量観測所



※「令和元年 台風第19号に関する気象速報」(令和元年10月14日 東京管区气象台)等を基に作成

2. 出水状況

[更新]

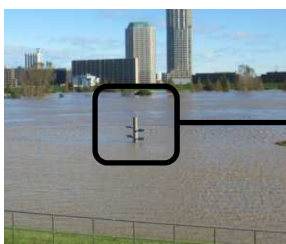
■最高水位(※水位は速報値です)

観測所	生起日時	記録水位	水防団 待機水位	氾濫 注意水位	避難 判断水位	氾濫 危険水位
岩淵水門 (上)	10月13日 9:50	A.P.+7.17m	A.P.+3.00m	A.P.+4.10m	A.P.+6.50m	A.P.+7.70m
南砂町 ※高潮の場合	10月13日 4:20	A.P.+2.76m	A.P.+2.00m	A.P.+3.00m	—	—

※気象庁から東京東部地域(江東区、葛飾区、足立区、墨田区のいずれかの荒川下流沿川地域)に高潮警報が発表されている場合で、なおかつ上記水位を超過した場合、高潮対応として体制に入ります。

■主要洪水(戦後)の最高水位(岩淵水門(上)観測所)

洪水	最高水位	時刻
昭和22年9月 カスリーン台風	A.P.+8.60m	S22. 9.16 04:00
昭和33年9月 狩野川台風	A.P.+7.48m	S33. 9.27 14:00
令和元年10月 台風第19号	A.P.+7.17m	R 1.10.13 09:50
平成11年8月 熱帯低気圧	A.P.+6.26m	H11. 8.15 10:00
平成19年9月 台風第9号	A.P.+5.09m	H19. 9. 7 20:00



昭和22年カスリーン台風
A.P.+8.60m
昭和33年9月 狩野川台風
A.P.+7.48m
令和元年10月 台風第19号
A.P.+7.17m



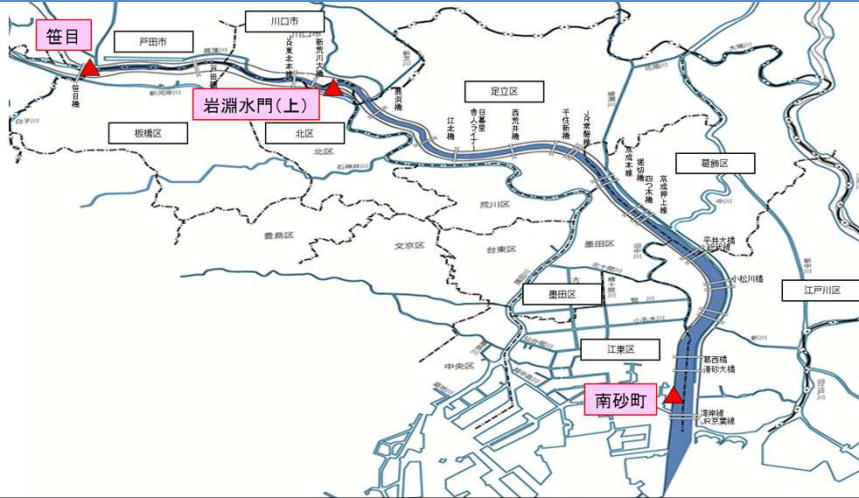
※右側の水位は、上から昭和16年台風、昭和3年台風

■荒川下流風水害対策支部の体制

指令日	体制区分
令和元年10月11日 18:00	注意体制
令和元年10月12日 21:10	警戒体制
令和元年10月14日 7:20	注意体制に移行

※本出水では、東京東部地域(江東区、葛飾区、足立区、墨田区のいずれかの荒川下流沿川地域)に高潮警報が発表されなかったため、高潮に伴う体制はありませんでした。

3. 洪水の状況



写真位置図

① 笹目付近 荒川左岸28.4km地点(埼玉県戸田市下笹目地先)

平常時 2019-10-10 9:21:27



洪水時 (10月13日 9:20)



② 岩淵水門(上)付近 荒川右岸21.1km地点(東京都北区志茂5丁目地先)

平常時 2019-10-10 10:01:18



洪水時 (10月13日 10:00)



③ 南砂町付近 荒川右岸-0.5km地点(東京都江東区南砂町3丁目地先)

平常時 2019-09-20 14:01:26



洪水時 (10月12日 14:40)



3. 洪水の状況

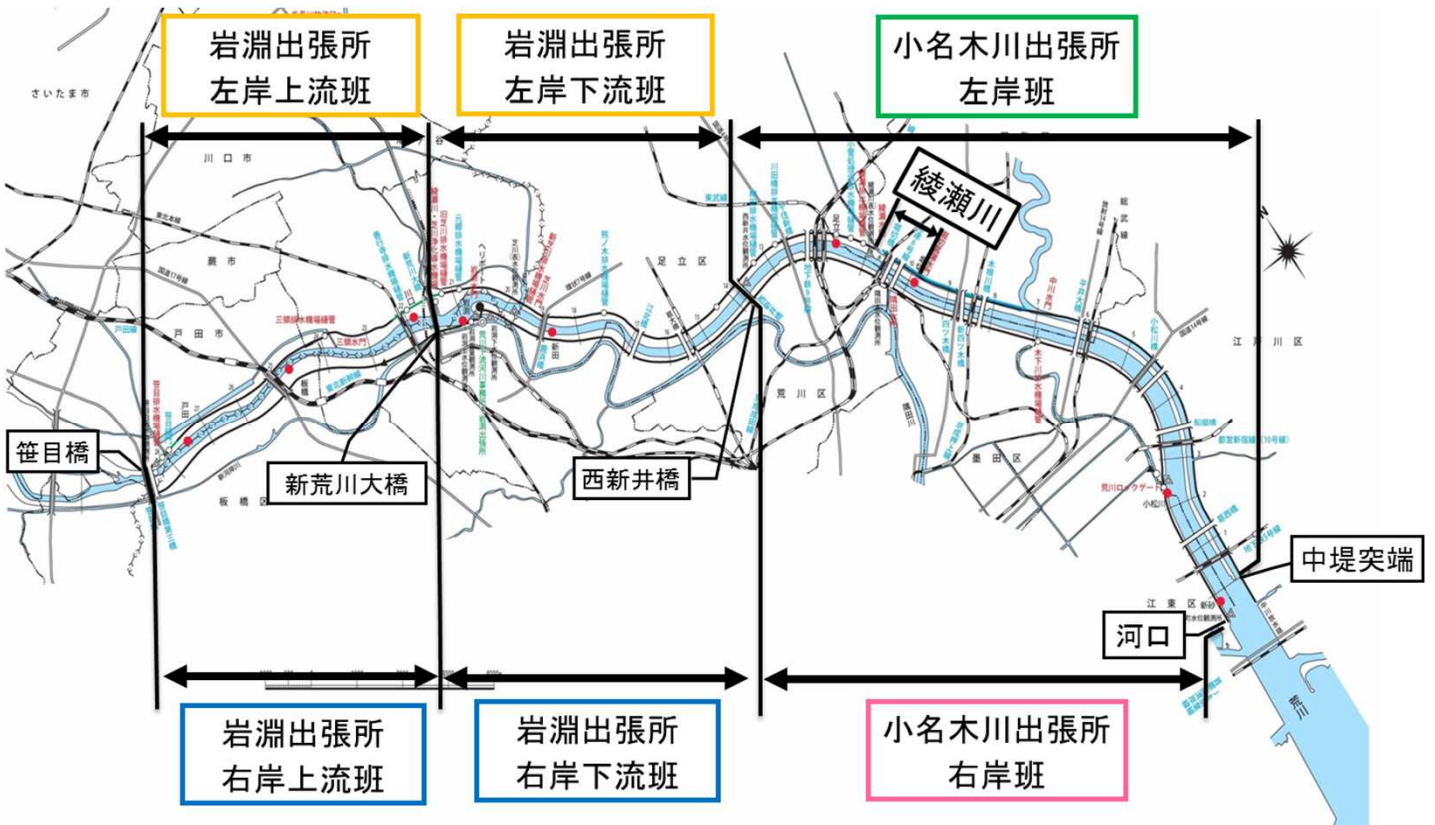
[追加]

■ 状況把握の実施状況

実施状況

班名	巡視の区間	開始時間	終了時間
岩淵出張所 左岸上流班	笹目橋 ~ 新荒川大橋	10月13日 2:00	10月14日 3:20
岩淵出張所 左岸下流班	新荒川大橋 ~ 西新井橋	10月13日 2:00	10月14日 3:20
岩淵出張所 右岸上流班	笹目橋 ~ 新荒川大橋	10月12日 20:45	10月14日 2:30
岩淵出張所 右岸下流班	新荒川大橋 ~ 西新井橋	10月12日 20:45	10月14日 2:30
小名木川出張所 左岸班	西新井橋 ~ 中堤突端	10月13日 3:06	10月13日 16:00
小名木川出張所 右岸班	西新井橋 ~ 河口	10月13日 3:28	10月13日 16:00

平面図



4. 洪水予報発表状況

[更新]

■ 岩淵水門(上)観測所に関する荒川洪水予報の発表状況

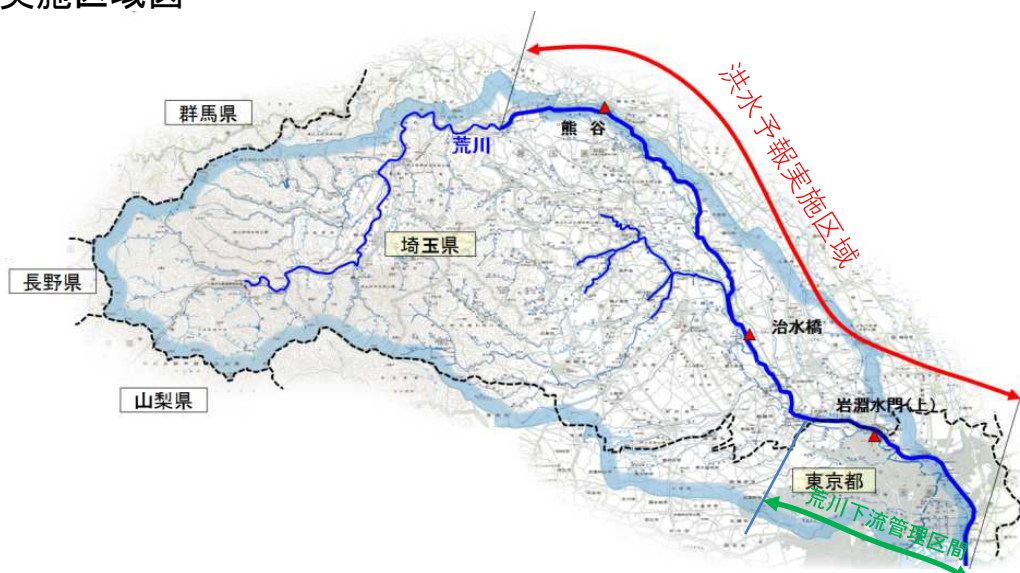
危険度レベル	水位 (岩淵水門(上)観測所)	洪水予報の種類	発表基準
	計画高水位 A.P.+8.57m		
5	氾濫の発生	氾濫発生情報 ※発令なし	氾濫が発生したとき
4 (危険)	氾濫危険水位 (A.P.+7.70m)	氾濫危険情報 ※発令なし	対象基準観測所の水位が氾濫危険水位に到達したとき
3 (警戒)	避難判断水位 (A.P.+6.50m)	氾濫警戒情報 10月13日(日) 5:20	「対象基準観測所の水位が氾濫危険水位に達することが見込まれるとき」あるいは「避難判断水位に到達し、さらに水位の上昇が見込まれるとき」
2 (注意)	氾濫注意水位 (A.P.+4.10m)	氾濫注意情報 10月12日(土) 22:20	「対象基準観測所の水位が氾濫注意水位に達し、さらに水位の上昇が見込まれるとき」
1	水防団待機水位 (A.P.+3.00m)		

※避難判断水位を下回ったことから、10月13日(日)17:10に「氾濫警戒情報」から「氾濫注意情報」に移行

※「氾濫注意水位」を下回ったことから、10月14日(月)7:30に「氾濫注意情報」を解除

洪水予報は、水防法(第10条2項)に基づき国土交通省と気象庁とが共同発表する洪水に関する情報です。

洪水予報実施区域図



5. 水防警報発令状況

[更新]

■ 荒川水防警報発令状況

危険度レベル	水位	水防警報の目安	発令状況	
5 4 (危険) 3 (警戒) 2 (注意) 1	氾濫の発生			
	氾濫危険水位			
	避難判断水位			
	氾濫注意水位	出 動	10/12 21:10	出 動
	水防団待機水位	待機・準備	10/12 15:20	準備
			10/14 7:20	解除

岩淵水門（上）

南砂町

発令なし

水防警報は、水防法（16条1及び2項）に基づき河川管理者が洪水時の河川水位の状態により発令する警報です。

荒川下流部では、岩淵水門（上）水位観測所・南砂町水位観測所の河川水位や河川の状況に応じて発令されます。

■ 水防警報の種類と内容・発令基準

種類	内容	発令基準
待機	出水あるいは水位の再上昇等が予想される場合に、状況に応じて直ちに水防機関が出勤できるように待機する必要があることを警告するもの	気象予報・気象警報及び河川状況等により、特に必要と認めるとき
準備	水防に関する情報連絡や水防資器材の整備等に努めるとともに、水防機関の準備をさせる必要があることを警告するもの	雨量・水位・流量とその他の河川状況により必要と認めるとき
出動	水防機関が出動する必要がある旨を警告するもの	氾濫注意情報等により、または水位・流量その他の河川状況により氾濫注意水位を超えるおそれがあるとき
指示	水位、滞水時間その他水防活動上必要な状況を明示するとともに、越水、その他河川状況により警戒を必要とする事項を指摘して警告するもの	氾濫警戒情報等により、または、すでに氾濫注意水位を超え、災害の起こるおそれがあるとき
解除	水防活動を必要とする出水状況が解消したこと及び当該基準水位観測所名による一連の水防警報を解除すること通告するもの	水位が氾濫注意水位以下に下降したときまたは、氾濫注意水位以上であっても水防活動を必要とする河川状況が解消したとき

■ 基準観測所位置図



■ 基準水位等

	岩淵水門(上)	南砂町※
計画高水位	A. P. +8.57m	A. P. +5.10m (計画高潮位)
氾濫危険水位	A. P. +7.70m	—
避難判断水位	A. P. +6.50m	—
氾濫注意水位	A. P. +4.10m	A. P. +3.00m
水防団待機水位	A. P. +3.00m	A. P. +2.00m

※気象庁から東京東部地域(江東区、葛飾区、足立区、墨田区)のいずれかの荒川下流沿川地域)に高潮警報が発表されたとき

6. 排水機場稼働状況

[更新]

■管内排水機場 稼働実績

排水機場	新芝川排水機場 (埼玉県川口市領家地先)	綾瀬排水機場 (東京都葛飾区小菅地先)
(排水経路) 排水能力	(芝川→荒川) 50m ³ /s	(綾瀬川→荒川) 100m ³ /s
	昭和52年完成 25m ³ /s×2台	昭和59年完成(平成7年増設) 50m ³ /s×2台
運転開始時間	10月13日(日) 0:54	10月12日(土) 10:40
運転終了時間	10月14日(月) 11:27	10月13日(日) 13:09
運転時間	延べ62時間45分	延べ47時間12分
累計排水量	7,350,000m ³ (小学校プール※ 約24,500杯分)	9,804,000m ³ (小学校プール※ 約32,680杯分)

※25m×12m×1m=300m³

■位置図



■排水機場の役割

普段は・・・	大雨が降ると・・・	排水機場があれば・・・
<p>平常時、水門は開いていて、堤内側の支川の水(内水)は本川に自然に流れ込んでいます。</p>	<p>台風、集中豪雨などが発生した場合、本川の水位が支川の水位より高くなる場合があります。本川の水が上昇し、支川へ逆流します。このままでは支川が溢れて、街が水浸しになってしまいます。</p>	<p>そこで水門を閉じて本川の水が流れ込こまないようにします。そして、排水機場は、水門が閉じられて行き場をなくした支川の水を強制的にポンプの力で、本川に流し出す役目をします。(内水排除)</p>

7. 水門操作状況

■直轄水門操作

水門	閉鎖日時	現在の状況
中川水門	12日14:59	全開 (14日20:34)
隅田水門	12日15:05	全開 (15日14:33)
堀切菖蒲水門	12日15:27	全開 (13日13:39)
綾瀬水門	12日14:44	全開 (14日20:08)
芝川水門	13日01:37	全開 (14日12:28)
岩淵水門	12日21:17	全開 (15日05:20)

■位置図

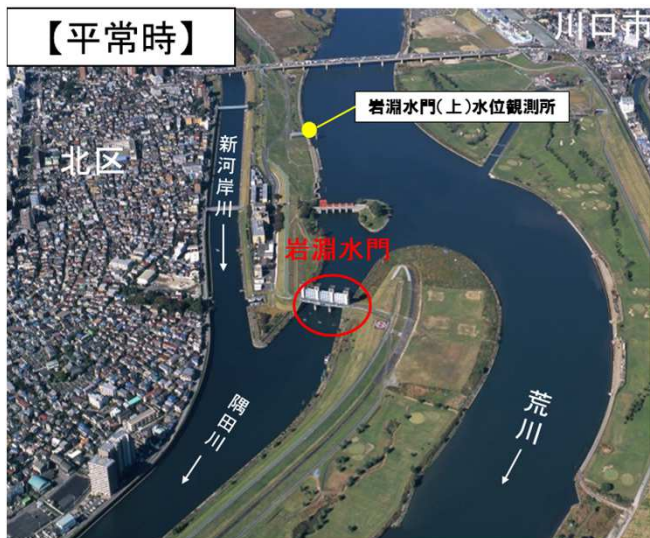


8. 岩淵水門操作

洪水時には岩淵水門を閉鎖し、荒川の洪水が隅田川へ流入することを防ぎ、隅田川の洪水氾濫を防止します。

令和元年10月12日（土）、岩淵水門（上）水位観測所の水位がA.P. +4.00mに達したため、20:50に閉門操作を開始し、21:17に全閉しました。

その後、荒川の水位低下により、15日（火）5:20に全開しました。

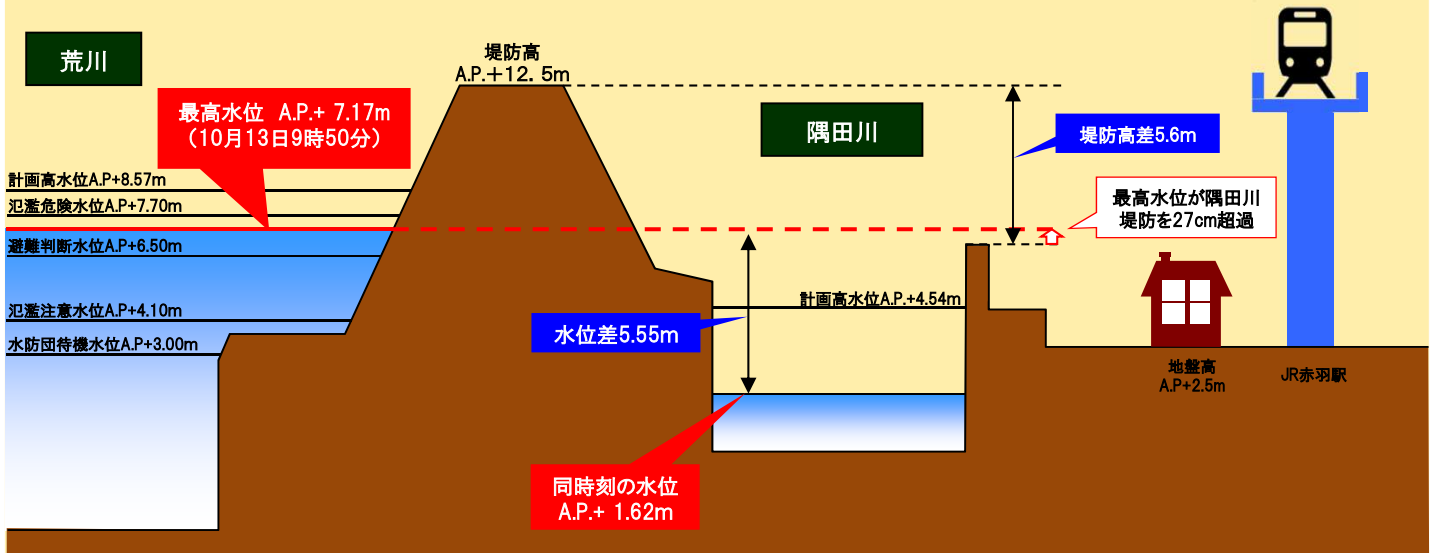


8. 岩淵水門操作～隅田川の堤防より高い荒川の洪水～ **[更新]**

岩淵水門を閉鎖していなければ、荒川の洪水が隅田川へ流入し、隅田川の堤防を越水し、氾濫した恐れがあります。

荒川の水位と隅田川の堤防高(岩淵水門付近)

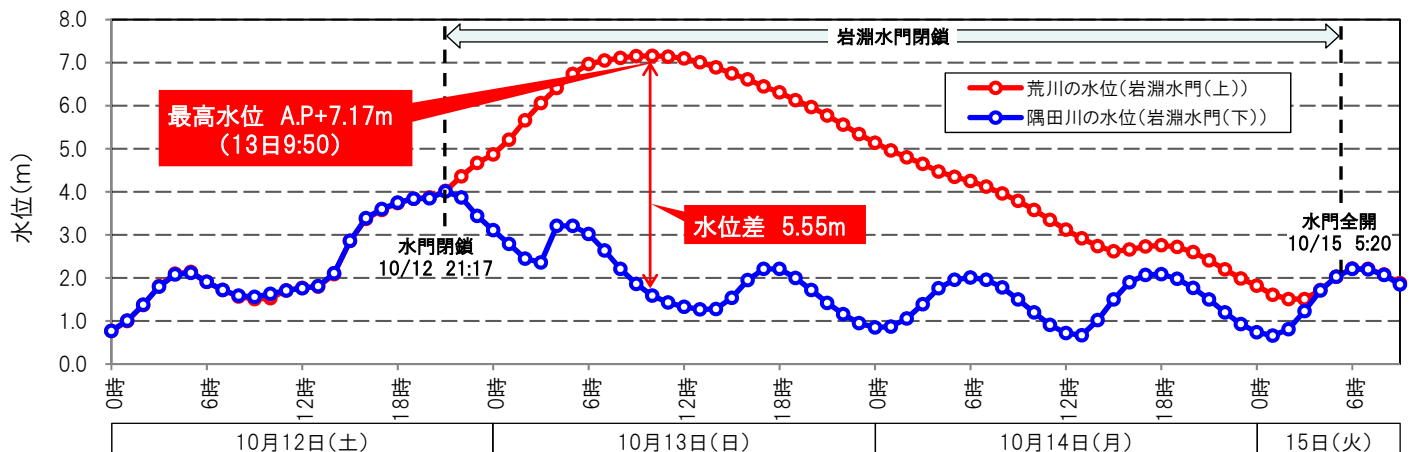
岩淵水門付近の最高水位は隅田川の堤防より高い状況であった



■岩淵水門閉鎖時の荒川と隅田川(新河岸川)の状況



岩淵水門(上)【荒川側】と岩淵水門(下)【隅田川側】の水位



【参考】 荒川放水路の建設と岩淵水門

[更新]

荒川（現在の隅田川）周辺では、江戸時代から明治時代にかけて、洪水が頻発していました。特に明治43年（1910）洪水は大きな被害をもたらしました。この洪水を契機として、洪水対応能力を向上させるため新たな放水路、現在の荒川を建設することとなりました。

岩淵の下流から中川の河口方面に向けて、延長22km、幅500mの放水路を開削し、東京府北豊島郡岩淵町に水門（岩淵水門）を造り本流を仕切り、昭和5年（1930）に荒川放水路として完成しました。

荒川下流河川事務所は、荒川放水路開削工事の着手にあたって、明治44年（1911）8月に『荒川改修事務所（内務省土木局東京土木出張所）』を東京府南足立郡千住町に設置、2度の移転を経て、昭和25年（1950）から現在の北区志茂へ移転し、荒川下流部の約30km（荒川の笹目橋から河口まで）の区間を管理しています。

明治43年洪水



現在の錦糸町付近



現在の浅草付近



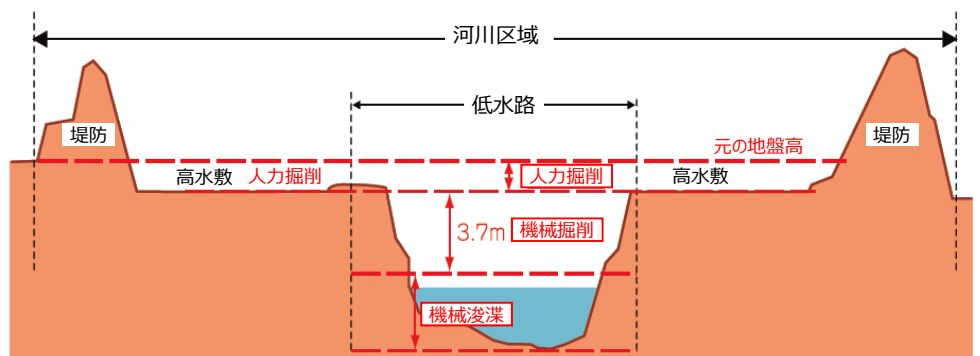
荒川放水路開削工事



人力掘削の様子（土運搬状況）



蒸気掘削機による機械掘削の様子



掘削箇所と開掘手法（概念図）

9. 情報発信状況

■ 事務所ホームページへの掲載



国土交通省関東地方整備局 災害情報
関東の川、みち、空、海、まちづくりに関するポータルサイト

ホーム > 災害情報 > 現在発信中の情報 > 荒川下流河川事務所 災害情報一覧 > 台風第19号に伴う体制

【風水害】台風第19号に伴う体制 荒川下流河川事務所

出水速報

令和元年10月14日15時

※掲載している写真に誤りがあったため修正(10/15 9時)

[出水速報 \[PDF:1827 KB\]](#)

タイムラインは、「解除」しました。

令和元年10月14日14時

台風による荒川下流の影響や今後の大きな水位上昇が見込まれないこと、熊谷水位観測所、治水橋水位観測所以下に低下したことから10月14日14時00分をもってタイムラインの適用を終了します。

注意体制

令和元年10月14日7時20分

台風19号の降雨により、岩淵水門(上)水位観測所の水位が氾濫注意水位(AP+4.1m)を下回りさらに水位が低下したことから10月14日7時20分に風水害対策支部を「注意体制」に移行します。今後、河川の情報に注意してください。

タイムラインは、「レベル3」です。

令和元年10月13日5時20分

台風19号の降雨により、岩淵水門(上)水位観測所の水位が避難判断水位(AP+6.5m)に達したため、タイムラインは、「レベル3」になりました。雨はやみましたが、現在も水位は上昇しています。引き続き、今後の河川の情報等にご注意下さい。

タイムラインは、「レベル2」です。

令和元年10月12日22時20分

台風19号の降雨により、岩淵水門(上)水位観測所の水位がはん濫注意水位(AP+4.1m)に達したため、タイムラインは、「レベル2」に移行しています。引き続き、今後の台風や河川の情報等にご注意下さい。

警戒体制

令和元年10月12日21時10分

台風19号の降雨により、岩淵水門(上)水位観測所の水位がはん濫注意水位(AP+4.1m)に達し、さらに上昇する可能性があるため、荒川下流河川事務所は令和元年10月12日21時10分に風水害対策支部を「警戒体制」に移行します。今後の台風情報や河川の情報に注意してください。

岩淵水門閉鎖

荒川下流河川事務所現在発信中の情報

荒川下流河川事務所過去の発信情報

荒川下流河川事務所過去の発信情報

■ 事務所ツイッター

国土交通省 荒川下流河川事務所 @mlit_arakawa_ka · 9時間

#台風第19号による岩淵水門付近の様子を上空から撮影した様子です。河川敷も濁流にのまれていきます。#荒川



14 1,034 1,228

国土交通省 荒川下流河川事務所 @mlit_arakawa_ka · 10月12日

#台風第19号の接近に伴い、岩淵水門地点の水位がAP+4.0mに達しました。このため、岩淵水門を閉鎖し、隅田川の水位上昇を防ぎます。今後の台風情報等にご注意ください。#荒川 #岩淵水門



東京都北区志茂
隅田川左岸 岩淵水門川裏

41 5,678 3,494

荒川下流河川事務所公式Twitter

洪水時や震災時に、川の水位や施設の状況などの防災情報をスムーズに提供していくためには、多様な情報発信ツールを備えており、「Twitter（ツイッター）」もそのひとつです。

国土交通省 関東地方整備局
荒川下流河川事務所
〒115-0042 東京都北区志茂5-41-1
TEL:03-3902-2311
<http://www.ktr.mlit.go.jp/arage/>

QRコード

事務所ホームページ







